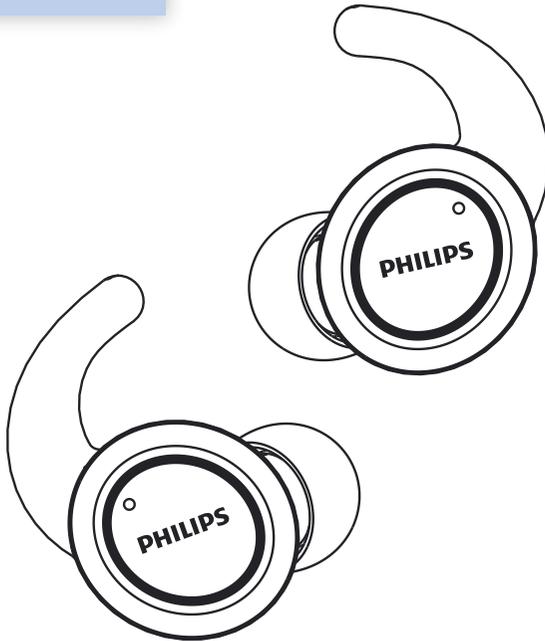


# PHILIPS

## Headphones

### 7000 Series

TAST702



# ユーザーマニュアル

製品を登録してサポートを受けましょう。

[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support)

# コンテンツ

---

1	安全上のご注意	2
---	---------	---

---

2	Bluetoothワイヤレス イヤークリップ	4
	同梱品	4
	その他の機器	4
	Bluetoothワイヤレス イヤークリップの概要	5

---

3	はじめに	6
	バッテリーの充電	6
	初めてBluetooth対応機器をイヤークリップとペアリングする	7
	イヤークリップを他のBluetooth対応機器とペアリングする	7

---

4	イヤークリップの使用	8
	イヤークリップをBluetooth対応機器に接続し直す	8
	電源オン/オフ	8
	通話と音楽の管理	8
	LEDインジケータのステータス	9
	装着方法	9

---

5	イヤークリップを工場出荷時設定にリセットする	10
---	------------------------	----

---

6	仕様	11
---	----	----

---

7	通知	12
	適合宣言	12
	使用済みの製品とバッテリーの廃棄	12
	EMFへの準拠	13
	環境情報	13
	準拠通知	13

---

8	よくあるご質問	14
---	---------	----

# 1 安全上のご注意

本製品をご使用頂く前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害や事故を未然に防止するためのものですので、下記内容を必ずお守り下さい。お読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保管してください。

## ⚡ 危険

この表示は、「取り扱いを誤った場合、死亡または重症を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの」を示しています。

## ⚠ 警告

この表示は、「取り扱いを誤った場合、死亡または重症を負う可能性があるもの」を示しています。

## ⚡ 危険

- イヤークリップを使用する場合は、必ず次のガイドラインに従ってください。
  - 本機を使用するときは音量を上げすぎない。耳を刺激するような大きな音量で長時間使用すると聴力に悪い影響を与えることがあります。
  - はじめから音量を上げすぎない。
  - 肌に異常やかゆみを感じた場合は使用しない。
  - 使用中に気分が悪くなったなら、使用を中止する。本製品を耳から外してください。
  - イヤークリップはしっかりと取り付ける。イヤークリップが外れて、耳の中に残るとけがや病気の原因となることがあります。
- 道路交通法に従って安全に運転する。自動車、バイク、自転車を運転中に本機を使用しないでください。また、歩行中、交差点や踏切、駅のホーム、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。事故の原因になります。
- 本製品を湿気、ほこり、油煙の多い場所、暖房器具の近く、直射日光の当たる場所や車内など高温の場所で使用、保管、放置しない。

## ⚠ 警告

- 分解や改造をしない。火災、感電、けが、または故障の原因になります。
- 本機を過度の熱に当てない。
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えない。
- 充電には認可された輸入業者等が明記されたUSB充電器DC5Vのみお使いください。
- 本製品を水没させない。
- ぬれた手で触れない。感電やけがの原因になります。
- 本機を布団や布などで覆わない。発熱や発火の原因になります。
- 本製品に水や異物を入れない。水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
- アルコール、アンモニア、ベンジン、または研磨剤を含むいかなる洗浄剤も使用しないでください。掃除が必要な場合は柔らかい布を使用し、必要な場合は最低限の量の水または薄めたマイルドな石けんで湿らせて本製品を掃除します。
- 航空機内で使用する場合は、航空会社および客室乗務員の指示に従う。電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。
- 自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない。電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。
- 病院など使用を禁止された場所で使用しない。医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。
- 本機を医療機器の近くで使用しない。機器が発する電波により心臓ペースメーカーや除細動器などの医療機器に影響を与えるおそれがあります。
- 高精度な制御や微弱な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。
- 誤って飲み込まないように、幼児やペットが触れる場所に置かない。本機にはリチウムイオンバッテリーが内蔵されているため、飲み込むと事故につながるおそれがあります。飲み込んでしまった場合は、速やかに医師の診断を受けてください。本機を使用していないときは、充電ケースに入れて蓋を閉め、幼児の手の届かないところやペットが触れない場所に保管してください。
- メーカー純正品または推奨品ではない電源アダプターや充電器を使用すると、火災や怪我などの原因となるおそれがあります。
- 破損した状態で使用したり、改造したりしない。破損した状態のバッテリーや改造したバッテリーを使用すると、火災や破裂の原因となり、

怪我をするおそれがあります。

修理が必要な際は、必ず当社サポートセンターにお問い合わせください。

- 電池の液が漏れたり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざける
- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない。  
異常に気づいたら、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店が当社サポートセンターに修理を依頼してください。
- 一般ごみ(不燃ごみ)と一緒に廃棄しない。
- 操作中および保管時の温度と湿度  
温度が、-10°C(14°F)から50°C(122°F)の間(最大相対湿度90%)の場所で操作、または保管してください。  
高温または低温状況ではバッテリー寿命が短くなる場合があります。

充電電池について 本製品はリチウムイオン電池を使用しています。



## 危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない。  
目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因となるので、すぐにきれいな水で十分に洗い流し、皮膚に違和感がある場合は、医師の診察を受けてください。
- 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
- 火気に近づけたり、火の中に入れない。
- 以下の場所で使用、放置、保管しない。
  - 直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、また、極端に温度が低いところ。
  - ストープなどの熱源の近く。
  - 炎天下の車内。
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えない。

## 電波について

2.4 FH 1

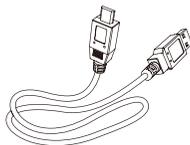
この無線機器は2.4GHz帯を使用します。

変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社サポートセンターまでお問い合わせください

## 2 Bluetooth ワイヤレスイ ヤーピース



USB充電ケーブル(充電のみ)



クイックスタートガイド

ご購入頂きありがとうございます。そしてフィリップスへようこそ!フィリップスが提供するサポートをすべてご利用いただくには、お客様の製品を [www.philips.com/support](http://www.philips.com/support) から登録いただく必要があります。フィリップスのワイヤレスイヤープースは、次のようにご利用いただけます。

- ・ ハンズフリーでワイヤレスによる便利な通話
- ・ 音楽をワイヤレスでコントロール
- ・ 通話と音楽の切り替え

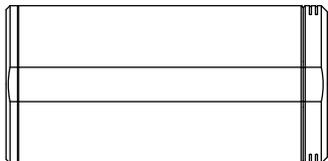
### 同梱品



Philips True Wirelessイヤープース  
Philips ST702



交換用イヤークャップ x 2ペア

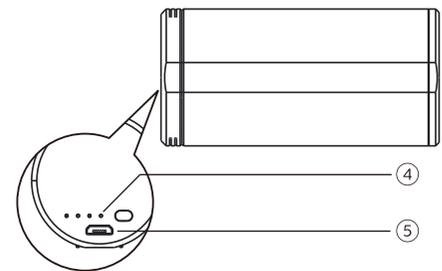
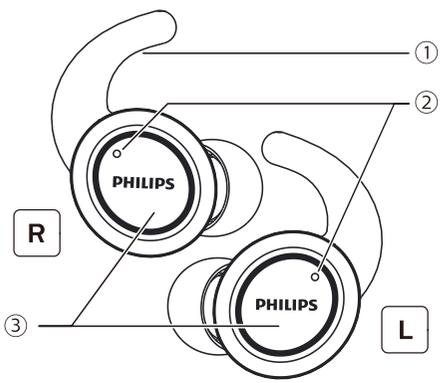


充電ケース

### その他の機器

Bluetoothを搭載したスマートフォン、タブレット、パソコンや音楽プレーヤーなどと接続が可能です。詳細は、本取扱説明書10ページに記載の「仕様」をご参照ください。

# Bluetooth ワイヤレスイヤ ーピースの概要



- ① イヤーキャップ
- ② マイク
- ③ 多機能ボタン
- ④ LEDインジケータ(充電ケース)
- ⑤ 充電用USBケーブル差込口 (充電ケース)

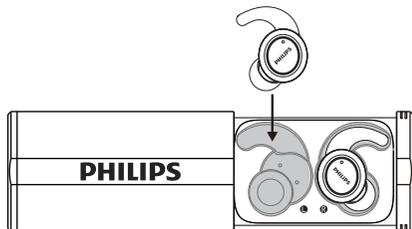
# 3 はじめに

- ・ 充電状況は、イヤーピースの白色LEDライトで確認することができます。
- ・ イヤーピースが完全に充電されると、白色のライトが消えます。

## バッテリーの充電

### ≡ 注釈

- ・ 初めてイヤーピースを使用する前に、イヤーピースを充電ケースに入れてバッテリーを3時間充電し、バッテリーの容量と寿命を最適化します。
- ・ 損傷を避けるため、付属のUSB充電ケーブルのみを使用してください。
- ・ イヤーピースを充電する前に通話を終了してください。イヤーピースの充電を行うために接続すると、イヤーピースの電源がオフになります。



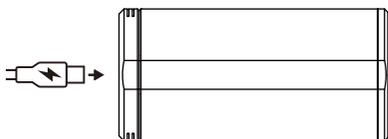
### \* ヒント

- ・ 通常、フル充電には2時間かかります(イヤーピースまたは充電ケース)。

## 充電ケース

USBケーブルの一端を充電ケースに、もう一端をDC5Vに対応した充電器に接続します。

- ↳ 充電ケースが充電を開始します。
- ・ 充電状況は、ケースのUSB端子の隣にある青色LEDインジケータで確認することができます。
- ・ 充電ケースが完全に充電されると、青いライトが点灯します。

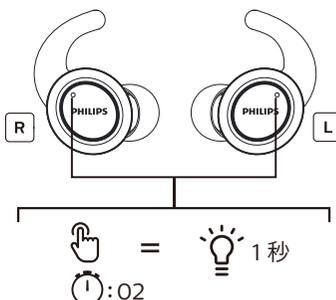


### \* ヒント

- ・ 充電ケースは、イヤーピースを充電するための携帯用バックアップバッテリーとして機能します。充電ケースが完全に充電されると、イヤーピースの3回のフル充電サイクルに対応します。

## 初めてBluetooth対応機器をイヤーピースとペアリングする

- 1 自動パワーオン: 充電ケースを開けてイヤーピースを取り出すと、青色のLED表示灯が点滅して「パワーオン」ボイスが流れます。
- 2 手動パワーオン: 両イヤーピースで、多機能ボタンを約2秒間長押しします。



- ↳ 両方のイヤーピース上のLEDが青色に3回点滅し、それから白色に点滅します。
- ↳ 両方のイヤーピースの電源がオンになり、互いにペアリングされます。

## イヤーピース

イヤーピースを充電ケースに入れてください。

- ↳ イヤーピースの充電が開始されます

↳ イヤーピースはペアリングモードになり、Bluetooth対応機器(例えば携帯電話)とのペアリングの準備状態になります。

- 3 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにします。
- 4 Bluetooth対応機器とイヤーピースをペアリングします。Bluetooth対応機器のユーザーマニュアルを参照してください。

### 注釈

- 電源を入れた後、イヤーピースが以前に接続されたBluetoothデバイスを検出できない場合は、自動的にペアリングモードに切り替わります。

次の例は、イヤーピースをBluetooth対応機器とペアリングする方法を示しています。

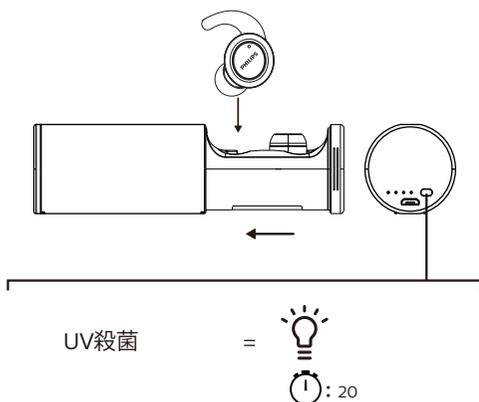
- 1 Bluetooth対応機器のBluetoothデバイス機能をオンにして、「Philips ST702」を選択します。
- 2 イヤーピースのパスワードには「0000」(4つのゼロ)を必要に応じて入力します。Bluetooth 3.0以降を搭載したBluetooth機器の場合は、パスワードを入力する必要はありません。



Philips ST702

## UV殺菌機能

イヤーピースを充電ケースに入れ、充電ケースを閉じます。イヤーピースのUV殺菌が行われている間、白色LEDが20秒間点灯します。



## イヤーピースを他のBluetooth対応機器とペアリングする

イヤーピースとペアリングする別のBluetooth対応機器がある場合は、以前にペアリングまたは接続された他の機器のBluetooth機能がオフになっていることを確認します。次に、「イヤーピースを初めてBluetooth対応機器とペアリングする」の手順に従います。

## 4 イヤーピースの使用

### イヤーピースをお使いのBluetooth対応機器に接続する

- Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにします。
- 両方のイヤーピースを充電ケースから取り出すと、イヤーピースの電源が入り、自動的に再接続されます。
  - 機器が接続されていない場合は、イヤーピースは3分後に自動でオフになります。
  - 両方のイヤーピースの電源がオンになり、自動的にペアリングされます。
  - イヤーピースは、最後に接続したBluetooth対応機器を検索し、自動的に再接続します。最後に接続した機器が使用できない場合、イヤーピースは最後から2番目に接続した機器を検索して再接続します。

#### ヒント

- イヤーピースは一度に2つ以上の機器に接続することはできません。ペアリングされたBluetooth機器が2つある場合は、接続する機器のBluetooth機能だけをオンにします。
- イヤーピースをオンにした後でお使いのBluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにする場合は、機器のBluetoothメニューに移動して、イヤーピースをBluetooth対応機器に手動で接続する必要があります。

#### 注釈

- イヤーピースが3分以内にBluetooth対応機器に接続できない場合は、バッテリーを節約するために自動的に電源が切れます。
- 一部のBluetooth対応機器では、接続が自動的に行われません。この場合、お使いの機器のBluetoothメニューに移動し、イヤーピースをBluetooth対応機器に手動で接続する必要があります。

### 電源オン/オフ

作業	多機能ボタン	操作
イヤーピースの電源オン	右/左のイヤーピース	2秒間長押し
イヤーピースの電源オフ	右/左のイヤーピース	4秒間長押し

両方のイヤーピースを充電ケースに入れる

→ 白色LEDが3回点滅

### 通話と音楽の管理

#### 音楽のコントロール

作業	多機能ボタン	操作
音楽の再生/一時停止	右/左のイヤーピース	2回押し
曲送り	右のイヤーピース	2秒間長押し
曲戻し	左のイヤーピース	2秒間長押し

## 通話コントロール

作業	多機能ボタン	操作
電話をかける/切る	右/左のイヤークラス	2回押し
着呼拒否	右/左のイヤークラス	2秒間長押し

## 音声コントロール

作業	多機能ボタン	操作
Siri/Google	右/左のイヤークラス	3回押し

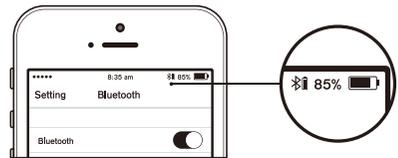
## LED インジケータのステータス

イヤークラスステータス	インジケータ
イヤークラスがBluetoothデバイスに接続されている	青色LEDが5秒ごとに点滅
イヤークラスが電源オンになっている	白LEDが3回点滅
イヤークラスがペアリングモードになっている	青色LEDが点滅
イヤークラスが電源オンでBluetooth対応機器に接続されていない	青色LEDが点滅 接続が行えない場合、イヤークラスは15分以内に自動的に電源オフ

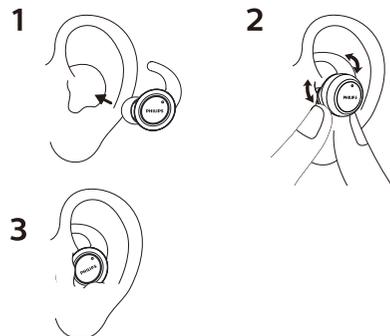
充電の残量が少なくなっている (イヤークラス)	イヤークラスで「Battery low」という音声通知
充電の残量が少なくなっている (充電ケース)	充電ケース上の青色LEDが1秒ごとに点滅
バッテリーが完全に充電されている (イヤークラス)	イヤークラスの白色LEDが消灯
バッテリーが完全に充電されている (充電ケース)	充電ケース上の白色LEDが消灯

## Bluetooth 対応機器でのイヤークラスの電池残量の確認

イヤークラスに接続すると、Bluetooth対応機器上に電池残量が表示されます。



## 装着方法



## 5 イヤーピースを工場出荷時設定にリセットする

電源オフの状態、LED表示灯が赤色と青色で交互に点滅するまでイヤープースの多機能ボタンを8秒間長押しします(または、イヤープースを充電ケースから取り出し、イヤープースのLED表示灯が赤色と青色で交互に点滅するまで待ちます)。多機能ボタンをダブルクリックし、LED表示灯が赤色と青色に同時に1度点灯したら工場出荷設定にリセットされます。操作終了後、イヤープースはパワーオフします。

イヤープースと接続を行っていた機器の両方のペアリング情報を削除した場合、最初に行った設定と同様にペアリングを行う必要があります。操作を簡単にするために、ペアリングリストはひとつずつ削除されることをおすすめします。

## 6 仕様

### イヤープース

- 音楽再生:6時間(充電ケース使用で18時間追加)
- 通話時間:6時間(充電ケース使用で18時間追加)
- スタンバイ時間:100時間
- 充電時間:2時間
- 再充電可能リチウムイオンバッテリー:各イヤープース105mAh
- Bluetoothバージョン:5.0
- 対応 Bluetooth プロファイル:
  - HSP (Hands-Free Profile-HFP)
  - A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
  - AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)
- 対応音声コーデック:SBC, AAC
- 周波数帯域:2.402 -2.480GHz
- トランスミッター出力 4 dBm 未満
- 動作可能範囲:最大10メートル(33フィート)

### 充電ケース

- 充電時間:2時間
- 再充電可能リチウムイオンバッテリー:450mAh

### 注釈

- 仕様は予告なく変更されることがあります。

# 7 通知

## 適合宣言

これにより、MMD Hong Kong Holding Limitedは、この製品が指令2014/53/EUの必須要件及びその他の関連規定に適合していることを宣言します。適合宣言は [www.p4c.philips.com](http://www.p4c.philips.com) からご確認ください。

## 使用済み製品とバッテリーの廃棄



製品は、リサイクルおよび再利用が可能な高品質の材料およびコンポーネントを使用して設計および製造されています。



製品に表示されているこの記号は、その製品が欧州指令2012/19/EUの対象であることを意味します。



この記号の意図として欧州指令2013/56/EUの適用を受ける内蔵充電式電池で、一般家庭では廃棄できないものを使用しています。充電式バッテリーを専門業者に取り外してもらうために、製品を正式な回収センターまたはフィリップスのサービスセンターに持ち込むことを強くお勧めします。

電気・電子製品と充電式電池の地域別回収システムについてお知らせします。地域のルールに従い、一般廃棄物と一緒に製品と充電式バッテリーを廃棄しないでください。古い製品及び充電式バッテリーの適切な廃棄により、以下の事柄を防ぐことができます。環境及び人体の健康に対して悪い結果をもたらします。

## 環境情報

不要な梱包はすべてなくしました。段ボール(箱)、発泡スチロール(緩衝液)、ポリエチレン(袋、保護フォームシート。)に分別しやすい梱包を心がけました。

製品は、専門会社によって解体された場合にリサイクルおよび再利用できる材料で構成されています。梱包材、使用済みバッテリー、古い機器の廃棄については、各地域の条例に従ってください。

- ・受信アンテナの方向または場所を変えます。
- ・装置と受信機の距離を離します。
- ・装置は、受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに接続してください。
- ・サポートについては、ディーラーまたは経験豊富な無線/TV技術者に相談してください。

### FCCの放射線被曝に関する声明:

この装置は、管理されていない環境に対して定められたFCCの放射線被曝限度に適合しています。

この送信機は、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

**注意:**法令等遵守責任者が明示的に承認していない変更・改造を行った場合、お客様の操作権限が無効になる可能性があることにご注意ください。

### カナダ:

このデバイスには、カナダのイノベーション・科学経済開発省ライセンス免除RSSに準拠するライセンス免除送信機/受信機が含まれます。次の2つの条件にしたがって操作する必要があります。(1)このデバイスは有害な干渉を引き起こすことはありません。(2)このデバイスは、あらゆる干渉(このデバイスが望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む)をすべて受け入れる必要があります。

## コンプライアンス通知

FCC 規則、パート 15 に準拠しています。次の2つの条件にしたがって操作する必要があります。

1. このデバイスは有害な干渉を引き起こすことはありません。
2. このデバイスは、受信した干渉(望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む)をすべて受け入れる必要があります。

### FCC 法規

本装置は、テストの上、FCC規則の15部に準拠するクラスBデジタルデバイスの限度に適合していることが明らかにされています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉からの妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、マニュアルに従って取り付けや使用を行わないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

しかしながら、特定の設置条件において、干渉が発生しないことは保証されません。もしこの装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は(装置の電源を入り切りすることで判別できます)、次のいずれかの方法で干渉を修正することをお勧めします。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

**ICの放射線被曝に関する記述:**

この装置は、管理されていない環境に対して定められたカナダの放射線被曝限度に適合しています。

この送信機は、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

## 8 よくあるご質問

使用しているBluetooth イヤーピースの電源が入りません。

バッテリー残量が少なくなっています。イヤーピースを充電してください。

使用しているBluetooth 対応機器とBluetooth イヤーピースをペアリングできません。

Bluetoothが無効になっています。イヤーピースをオンにする前に、Bluetooth対応機器のBluetooth機能を有効にし、Bluetooth対応機器の電源を入れてください。

ペアリングがうまくいきません。

- ・ 両方のイヤホンを充電ケースに入れます。
- ・ 以前に接続したBluetooth対応機器のBluetooth機能が無効になっていることを確認します。
- ・ お使いのBluetooth対応機器で、Bluetoothリストから「Philips ST702」を削除します。
- ・ イヤーピースをペアリングします(7ページの「初めてイヤーピースをBluetooth対応機器とペアリングする」を参照)。

ペアリングのリセット方法

充電ケースから両方のイヤーピースを外します。LEDインジケータが白色に変わるまで、多機能ボタンを両方のイヤーピースを2回押し、約10秒間待ちます。ペアリングが成功すると「Connected」、「Left Channel」、「Right Channel」という音声が流れます。

Bluetooth 対応機器でイヤーピースがみつかりません。

- ・ イヤーピースが以前にペアリングされた機器に接続されている可能性があります。その接続されている対応機器の電源を切るか、電波の届かない場所へ移動させてください。
- ・ ペアリングがリセットされているか、イヤーピースが以前に別の機器とペアリングされたままである可能性があります。ユーザーマニュアルの説明に従って、イヤーピースとBluetooth対応機器を再度ペアリングします。(7ページの「初めてイヤーピースとBluetooth対応機器をペアリングする」を参照してください)。

Bluetooth イヤーピースがBluetooth ステレオ対応のスマートフォンに接続されているが、音楽はスマートフォンのスピーカーでしか再生されません。

お使いの携帯電話のユーザーマニュアルをご参照ください。イヤホンを通じて音楽を聴く設定をご確認ください。

音質が悪く、音飛びノイズが聞こえます。

- ・ Bluetooth 対応機器が電波が届く範囲から外れています。イヤーピースとBluetooth 対応機器間の距離を短くするか、間にある障害物を取り除きます。
- ・ イヤーピースを充電してください。

スマートフォンからのストリーミングが非常に遅い場合、またはオーディオストリーミングがまったく機能しない場合に、音質が低下します。

お使いのスマートフォンが(モノラル)HSP/HFPだけでなく、A2DPもサポートしていて、BT4.0x(またはそれ以上)互換であることを確認してください(10ページの「仕様」を参照してください)。

Bluetooth 対応機器で音楽は聴くことはできませんが、コントロールできません(再生/一時停止/早送り/巻き戻しなど)。

Bluetooth の音源が AVRCP (10 ページの「仕様」を参照) に対応していることを確認してください。

イヤークリップの音量が小さすぎます。

Bluetooth 対応機器の中には、音量の同期でイヤークリップとの音量のリンクができないものもあります。

この場合、適切な音量にするため、Bluetooth 対応機器単独で音量を調整する必要があります。

イヤークリップを別の機器に接続できないのですが、どうすればいいですか？

- 以前にペアリングされた機器の Bluetooth 機能がオフになっていることを確認してください。
- もう一方の機器でも、ペアリング手順(6 ページの「初めてイヤークリップを Bluetooth 対応機器とペアリングする」を参照)を繰り返します。

片方のイヤークリップからしか音楽が再生されません。

- 通話中の場合は、左右のイヤークリップから音が出るのが普通です。
- 音楽を聴いているときに、片方のイヤークリップからしか音が聞こえない場合:
  - もう片方のイヤークリップのバッテリーが切れている可能性があります。最高のパフォーマンスのために、左右のイヤークリップをフル充電してください。

- まず、左右のイヤークリップをそれぞれ接続解除して、両方のイヤークリップの電源をオフにします。次に、左右のイヤークリップを5秒間充電ケースに戻してから取り出します。この手順により、左右のイヤークリップの電源が入り、両方のイヤークリップが接続されます。イヤークリップをお持ちの Bluetooth 対応機器と再接続します。

- イヤークリップが複数の Bluetooth 対応機器に接続されています。全ての接続されている機器の Bluetooth 機能をオフにします。両方のイヤークリップの電源をオフにします。両方のイヤークリップを5秒間充電ケースに戻してから取り出します。イヤークリップをお持ちの Bluetooth 対応機器と再接続します。イヤークリップは、一度に1つの Bluetooth 対応機器だけに接続するように設計されています。イヤークリップをお持ちの Bluetooth 対応機器に再接続するときは、以前にペアリングして接続した他の機器の Bluetooth 機能がオフになっていることを確認してください。

- 上記の方法にて解決しない場合は、イヤークリップを工場出荷時設定にリセットしてください(11ページの「イヤークリップを工場出荷時設定にリセットする」をご覧ください)。

サポートについては、  
[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support) にアクセスしてください。



PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されます。本製品は、MMD Hong Kong Holding Limited またはその関連会社の責任の下に製造および販売されており、MMD Hong Kong Holding Limited が本製品に関する保証を行います。

